

みつわ台周辺の遺跡調査

1年5組遺跡調査団
千葉県千葉市立みつわ台中学校
指導者 伊原 浩昭

「だれもが、とちゅうでやめたいと思った
と思います。」

けれど、班長の言うことを一生けんめい
に聞いて、2冊の本と、パネル・遺物ケー
スを作った。みんなのためになるものが出
来たので、早く他の人たちにみせたい気持
ちでいっぱいでした。

1年5組のみんなでやる！ということ
で始めたものですが、いつの間にか、学校
のため、このみつわ台のためと思えるよう
になったからです。」



「何事にも一生懸命やり、

最後までがんばり通す」

をクラス目標にして、今回文部大臣奨励賞を獲得
したみつわ台中学校1年5組はこんなクラスです。

○環境

みつわ台中学校は、創立してまだ8年しかたっ
ていない、新しい学校です。また、1年5組のみんな
が住んでいるところも、最近山を切り開いてできた
住宅地で、その時に多くの遺跡が発見されました。

また、学校のすぐ前にある森林公園も貝塚の上に
あり、今でも雨あがりのときに、貝が地表に出て来
たりします。

地元の人々もこの遺跡群に非常に関心を持って
いて、校内にも地元の人々の協力で、社会科展示コー
ナ―（出土器、パネル資料等）が設置されています。

文部大臣奨励賞 受賞作品の紹介

○1年5組のみんなに、遺跡調査のこと、先生のこ
となどを聞いてみました。

遺跡調査の時のこと

- 最初は、遺跡調査なんか出来るんだろうかと、
とても不安でした。
- 自分で遺物がひろえた時はうれしかった。
- 最初、何人か調査に協力しない人がいたけど、
次第にクラスが一つにまとまってきました。
- 夏休み最後の10日間は、宿題もそっちのけで、
夜まで作業をつづけました。
- 作品が完成して、みんなで万歳三唱をした時、
とてもうれしかったです。

○教師2年生の伊原先生について

- みかけによらず、やさしい。
- 社会のことになると興奮する。
- やるときめたら、何でもやる先生。
- 熱心な先生。
- みんなの中にとけこんでくれる先生です。

○作品制作後のことについて

- 作品は、学級の中に飾っていますが、他のクラ
スの人に、うらやましがられています。

現在、みつわ台中学校1年5組のみんなは、文化
祭（霜月祭）で行なわれる「学校新聞コンクール」
に向けての新聞制作に、また、その時に出品予定の
学級の生いたちをテーマにした映画作りに、前より
いっそう強いクラスの団結をもって取り組んでいま
す。

最後に、この「みつわ台周辺の遺跡調査」が完成
後、これがきっかけとなって、地元の人々から、み
つわ台周辺の遺跡について本を出そう、という声も
上がって来るようになりました。

※この作品は、文部大臣奨励賞の他に、
優秀学校賞も受賞しました。

●動機 クラスの一人が、学校の前の公園で土器
の破片（縄文時代のもの）を見つけました。それ
がきっかけとなり、社会科の時間、先生が、みつ
わ台周辺の遺跡、館、古墳の名前が40近く書いて
ある、10年前の地図を見せてくれました。

最初は、みんなその地図を気にしていませんで
したが、夏休み近くになると、クラスのみんなか
ら、自分たちの身のまわりにある遺跡を調べよう
という言葉が出てきました。

7月6日、学級会で、夏休みに遺跡調査をやる
ことが全員一致で決定し、1年5組遺跡調査団が
結成されたのです。



●目標 ●10年前と比べて、どのくらい遺跡、館、古
墳が残っているかどうかを調べつくす。

- みつわ台周辺の遺跡の位置を明らかにする。
- 自分達の住んでいる町の歴史の中心をみる。

●調査結果（抜粋）

石神遺跡

4班

- 場所と位置 東寺山町石神 台地縁辺部
- 時代 縄文時代中期
- 下調べでわかったこと

今は、石神二号墳は、京葉道路に、石神三、四、
五、六号墳は、畑になって残っていない。

～二号墳について～

近辺の人々のはなし

- 前は塚がよくわかったが、京葉道路を作るた
めにはかいしてしまった。
- 古墳をこわす時に、畑の土と古墳の土をまぜ
てしまったのでその場所は使えなくなってい
ました。

～三、四、五、六号墳について～

近辺の人々のはなし

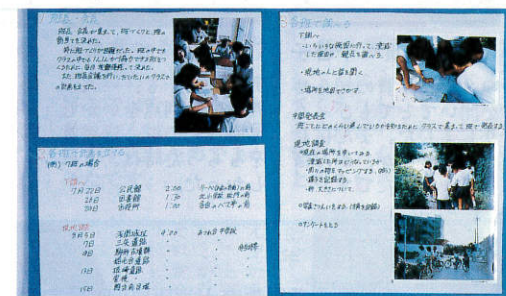
- ブルドーザーでこわした時、いくつかの土器
が発見された。今でも畑仕事をしていると土
器のかけらが落ちている。
- 出てきたもの
・石まくら・めんこ・土器・剣・首飾りなど
- 現状 湮滅
- 感想・疑問点
石神遺跡は、ほとんどはかいされていたので、
さがすとき時間をたくさん使った。

宮腰遺跡

6班

- 場所と位置 高品町字宮腰 舌状台地縁辺部
- 時代 古墳時代
- 下調べでわかったこと 宮腰遺跡には100～
200人の農民がいた。(大部落だったのでは?)
- 出てきたもの 貝・土器片
- 感想・疑問点

宮腰遺跡は、私達が調査した遺跡の中では、
一番土器片の多く出てきたところだった。でも
貝片はあまり出てこなかった。ここは人が
生活していただけで、ゴミは別の所（大塚遺
跡）に捨てていたのかもしれない。



選 評

組織的に学級全体が1つの視点に取り組んだ
共同研究の代表的作品であり、その中には学級
の力というものがみられる。調査方法、調査結
果の分析がしっかりしており、発表会にまど
め上げるところまで出来ている。

写真・地図といったものを大切にしており、
実際にそこへ行って調べ、歩き、触れていると
いった汗くささ、泥くささが感じられる。